

# 線形代数続論・筆答レポート (第一回 2018/05/31)

1. 次の連立方程式を解け。[5 点]

$$\begin{cases} a + b + c + d = 8 \\ 2a + 3b + 2c + 4d = 7 \\ 3a + 5b + 3c + 7d = 6 \end{cases}$$

2. 行列  $A = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 2 & 1 & 3 & 4 \\ 0 & 0 & 3 & 4 \\ 0 & 0 & 1 & 5 \end{pmatrix}$  の逆行列を求めよ。[5 点]

3. 行列式  $\begin{vmatrix} 2 & 4 & 8 & -2 \\ 3 & 2 & 5 & 6 \\ -2 & -4 & 5 & 8 \\ 2 & -4 & 5 & 4 \end{vmatrix}$  を求めよ。[5 点]

4. 次の行列  $A$  それぞれに対して下記の問いに答えよ。[5 点  $\times$  4]

$$(a) A = \begin{pmatrix} 3 & 1 & 1 \\ -1 & 5 & 1 \\ 0 & 0 & 4 \end{pmatrix} \quad (b) A = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & -2 \\ 2 & -2 & 0 \end{pmatrix}$$

(1)  $A$  の固有値と対応する固有空間の基底を求めよ。

(2)  $A$  が対角化可能であるかを判定 (その理由も書くこと) し、対角化可能であるならば  $P^{-1}AP$  が対角行列となる正則行列  $P$  を求め、そのときの  $P^{-1}AP$  も答えよ。

5.  $A = \begin{pmatrix} 1 & 1 & -1 \\ 1 & 1 & 1 \\ -1 & 1 & 1 \end{pmatrix}$  とする。[5 点  $\times$  2]

(1)  $A$  の固有値と対応する固有空間の基底を求めよ。

(2)  $A$  を直交行列によって対角化せよ ( $T^{-1}AT$  が対角行列となる直交行列  $T$  を求め、そのときの  $T^{-1}AT$  も答えよ。)

6.  $\mathbf{u}_1 = (1, 1, 1, 0, 3)$ ,  $\mathbf{u}_2 = (2, 1, 2, 0, 3)$ ,  $\mathbf{u}_3 = (1, 2, 1, 0, 6)$  とし  $U = \langle \mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2, \mathbf{u}_3 \rangle$  とする。また  $\mathbf{v}_1 = (1, 0, 1, 1, 1)$ ,  $\mathbf{v}_2 = (1, 1, 1, 1, 4)$ ,  $\mathbf{v}_3 = (2, 1, 2, 2, 5)$  とし  $V = \langle \mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2, \mathbf{v}_3 \rangle$  とする。[5 点  $\times$  2]

(1)  $U$  の一組の基底を求めよ。

(2) (1) で求めた  $U$  の基底の延長となる  $U + V$  の基底を求めよ。

7.  $A$  を実対称行列とし、 $\lambda, \mu$  を  $A$  の相異なる固有値、 $\mathbf{x}, \mathbf{y}$  を対応する固有ベクトルとする。このとき  $\mathbf{x}$  と  $\mathbf{y}$  は直交することを示せ。[5 点]

[5 点  $\times$  12 = 60 点満点]